

神奈川県森林土木事業設計要領（林道編）
第 3 編 新旧対照表

新	旧
第 1 章 第 1 節～第 5 節（略） 第 6 節法面保護工 <u>（削除）</u> ○ 法面整形・法面清掃について 法面保護工の積算に当たっては「法面整形」および「法面清掃」の有無に注意して積算すること。（必携に記載されている施工フローや施工歩掛の備考欄を確認すること。） ・法面整形・・・表層の 30cm 程度までの凹凸の処理に適用する。 ・法面清掃・・・法面表面の浮石・地衣類・根等の除去、または 5cm 程度の凹凸の処理に適用する。 「法面整形」は法面の状況を勘案し必要に応じて計上する。特殊配合モルタル吹付工等では、標準歩掛の備考欄に、法面整形を行った斜面に適用する場合には労務歩掛を減ずる旨記載されているため注意すること。 「法面清掃」は法面保護工の施工にあたっては必ず実施する必要がある。ただし、法面保護工の歩掛には法面清掃を含んでいるものがあるため、積算にあたっては重複して計上しないように注意すること。（重複計上となる例） ① 林道開設の土工で法面整形を行ったが、特殊配合モルタル吹付工で労務歩掛を減じなかった。 ② 特殊配合モルタル吹付工（含、法面清掃）に別途「法面清掃」を計上した。 ③ 特モル A（含、法面清掃）と合わせて必携共通 4－5 種子吹付工（含、法面清掃）を計上した。 ○ 市場単価の適用について 必携共通第 9 を確認し、市場単価が適用できる場合は市場単価で積算すること。 市場単価の適用にあたっては、神奈川県県土整備局土木工事積算基準書土木工事編第 VI 編第 2 章市場単価を参照し、施工規模等に応じた加算率・補正係数を適用すること。 （注意）種子吹付工については、市場単価が適用できる場合は市場単価で、適用できない場合は必携 4-4 種子吹付工によって積算する。法面清掃が不要な場合は 4-2-4-（4）－2）種子吹付工によって積算する。 1 法枠工（標準歩掛 共通 4－1） 治山林道必携の歩掛を用いた積算にあたっては神奈川県森林土木事業設計要領（治山編）第 3 編第 1 章第 5 節 5．法枠工を準用する。 2 モルタル・コンクリート吹付工 <u>（削除）</u>特殊モルタル吹付工（「治山林道必携」第 1 編共通工 4-2-4、4-2-5） <u>（削除）</u> <u>（削除）</u> ・繊維マットは施工しないことを標準とする。 ・繊維マットを施工しない場合は、100 m²当り法面工 1.7 人、普通作業員 0.4 人、世話役 0.4 人を減	第 1 章 第 1 節～第 5 節（略） 第 6 節法面保護工 <u><積算上の注意点></u> ○ 法面整形・法面清掃について 法面保護工の積算に当たっては「法面整形」および「法面清掃」の有無に注意して積算すること。（必携に記載されている施工フローや施工歩掛の備考欄を確認すること。） ・法面整形・・・表層の 30cm 程度までの凹凸の処理に適用する。 ・法面清掃・・・法面表面の浮石・地衣類・根等の除去、または 5cm 程度の凹凸の処理に適用する。 「法面整形」は法面の状況を勘案し必要に応じて計上する。特殊配合モルタル吹付工等では、標準歩掛の備考欄に、法面整形を行った斜面に適用する場合には労務歩掛を減ずる旨記載されているため注意すること。 「法面清掃」は法面保護工の施工にあたっては必ず実施する必要がある。ただし、法面保護工の歩掛には法面清掃を含んでいるものがあるため、積算にあたっては重複して計上しないように注意すること。（重複計上となる例） ①林道開設の土工で法面整形を行ったが、特殊配合モルタル吹付工で労務歩掛を減じなかった。 ②特殊配合モルタル吹付工（含、法面清掃）に別途「法面清掃」を計上した。 ③特モル A（含、法面清掃）と合わせて必携共通 4－5 種子吹付工（含、法面清掃）を計上した。 ○ 市場単価の適用について 必携共通第 9 を確認し、市場単価が適用できる場合は市場単価で積算すること。 市場単価の適用にあたっては、神奈川県県土整備局土木工事積算基準書土木工事編第 VI 編第 2 章市場単価を参照し、施工規模等に応じた加算率・補正係数を適用すること。 （注意）種子吹付工については、市場単価が適用できる場合は市場単価で、適用できない場合は必携 4-4 種子吹付工によって積算する。法面清掃が不要な場合は 4-2-4-（4）－2）種子吹付工によって積算する。 1 法枠工（標準歩掛 共通 4－1） 治山林道必携の歩掛を用いた積算にあたっては神奈川県森林土木事業設計要領（治山編）第 3 編第 1 章第 5 節 5．法枠工を準用する。 2 モルタル・コンクリート吹付工 <u>(1) 特殊モルタル吹付工</u>（「治山林道必携」第 1 編共通工 4-2-4、4-2-5） <u>ア特殊配合モルタル吹付工 A</u>（「治山林道必携」第 1 編共通工 4-2-4） <u>（ア）留意事項</u> ・繊維マットは施工しないことを標準とする。 ・繊維マットを施工しない場合は、100 m²当り法面工 1. 7 人、普通作業員 0. 4 人、世話役

神奈川県森林土木事業設計要領（林道編）
第3編 新旧対照表

新	旧																																																																
じた数量を計上する。（平成5年度林道必携参照） ・金網は亀甲金網φ1.2mm、網目26mmを標準とする。 ・必要に応じて、種子吹付工を同時施工する。 3 種子吹付工（必携共通 4-4、9） <u>（削除）</u> 吹付材料の標準使用量は、次表による。 (1,000 m²当り) <table><tr><th>名</th><th>称</th><th>規</th><th>格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘</th><th>要</th></tr><tr><td>種</td><td>子</td><td></td><td></td><td>kg</td><td></td><td>必要量を計上する。</td><td></td></tr><tr><td>肥</td><td>料</td><td>化</td><td>学</td><td>肥</td><td>料</td><td>〃</td><td>204 割増しを含む 170×1.20</td></tr><tr><td>養</td><td>生</td><td>材</td><td></td><td>〃</td><td>204</td><td>割増しを含む 170×1.20</td><td></td></tr></table> 備考 1. 種子の種類及び配合量は、施工場所の土質、時期等により決定する。 2. 上表により難い場合は、現場状況に応じて適宜増減する。	名	称	規	格	単位	数量	摘	要	種	子			kg		必要量を計上する。		肥	料	化	学	肥	料	〃	204 割増しを含む 170×1.20	養	生	材		〃	204	割増しを含む 170×1.20		0.4人、を減じた数量を計上する。（平成5年度林道必携参照） ・金網は亀甲金網φ1.2mm、網目26mmを標準とする。 ・必要に応じて、種子吹付工を同時施工する。 3 種子吹付工（必携共通 4-4、9） <u>（1）材料の使用量</u> 吹付材料の標準使用量は、次表による。 (1,000 m²当り) <table><tr><th>名</th><th>称</th><th>規</th><th>格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘</th><th>要</th></tr><tr><td>種</td><td>子</td><td></td><td></td><td>kg</td><td></td><td>必要量を計上する。</td><td></td></tr><tr><td>肥</td><td>料</td><td>化</td><td>学</td><td>肥</td><td>料</td><td>〃</td><td>204 割増しを含む 170×1.20</td></tr><tr><td>養</td><td>生</td><td>材</td><td></td><td>〃</td><td>204</td><td>割増しを含む 170×1.20</td><td></td></tr></table> 備考 1. 種子の種類及び配合量は、施工場所の土質、時期等により決定する。 2. 上表により難い場合は、現場状況に応じて適宜増減する。	名	称	規	格	単位	数量	摘	要	種	子			kg		必要量を計上する。		肥	料	化	学	肥	料	〃	204 割増しを含む 170×1.20	養	生	材		〃	204	割増しを含む 170×1.20	
名	称	規	格	単位	数量	摘	要																																																										
種	子			kg		必要量を計上する。																																																											
肥	料	化	学	肥	料	〃	204 割増しを含む 170×1.20																																																										
養	生	材		〃	204	割増しを含む 170×1.20																																																											
名	称	規	格	単位	数量	摘	要																																																										
種	子			kg		必要量を計上する。																																																											
肥	料	化	学	肥	料	〃	204 割増しを含む 170×1.20																																																										
養	生	材		〃	204	割増しを含む 170×1.20																																																											

神奈川県森林土木事業設計要領（林道編）
第3編 新旧対照表

新					旧																																																																																					
4 自然侵入促進工 (1) 適用範囲 森林基盤整備協議会との協議対象箇所や自然公園法の許認可が必要な箇所等、特に人為的に植物を導入することが適当ではないと認められる箇所について実施することができる。 (2) 単価表 種子定着促進マット張工100m2 あたり <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr><tr><td>種子定着促進マット</td><td>1m×10m (1.15m×1.15m)</td><td>m</td><td>110 (83.3)</td><td>必要に応じて亀甲金網付きを選択 ロス率1.1を含む</td></tr><tr><td>アンカーピン</td><td>Φ9×200mm</td><td>本</td><td>309 (379)</td><td></td></tr><tr><td>アンカーピン</td><td>Φ9×200mm</td><td></td><td>110</td><td>亀甲金網付きの場合計上する</td></tr><tr><td>止め釘</td><td>L=150mm 大頭釘</td><td>本</td><td>290 (606)</td><td>亀甲金網付きの場合計上しない</td></tr><tr><td>世話役</td><td></td><td>人</td><td>0.5 (0.5)</td><td></td></tr><tr><td>法面工</td><td></td><td>人</td><td>2.3 (3.3)</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>1.6 (2.3)</td><td></td></tr></table> 備考 法枠内に設置する場合は枠内吹付面積 100m2 あたりの数量とし、（）内の数値を使用する 種子定着促進ネット張工100m2 あたり <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr><tr><td>種子定着促進ネット</td><td></td><td>m2</td><td>120</td><td></td></tr><tr><td>主アンカーピン</td><td></td><td>本</td><td>10</td><td></td></tr><tr><td>補助アンカーピン</td><td></td><td>本</td><td>40</td><td></td></tr><tr><td>発動発電機運転</td><td>10kVA</td><td>日</td><td>0.6</td><td></td></tr><tr><td>世話役</td><td></td><td>人</td><td>0.5</td><td></td></tr><tr><td>法面工</td><td></td><td>人</td><td>1.5</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>1.8</td><td></td></tr><tr><td>諸雑費</td><td></td><td>%</td><td>3.0</td><td></td></tr></table> 備考 1 林単の種子定着促進ネットには主・補助アンカーピンの単価が含まれている点に留意 2 諸雑費はハンマー・ロープの損料等であり労務費の合計額に率を乗じた金額を計上する。					名称	規格	単位	数量	摘要	種子定着促進マット	1m×10m (1.15m×1.15m)	m	110 (83.3)	必要に応じて亀甲金網付きを選択 ロス率1.1を含む	アンカーピン	Φ9×200mm	本	309 (379)		アンカーピン	Φ9×200mm		110	亀甲金網付きの場合計上する	止め釘	L=150mm 大頭釘	本	290 (606)	亀甲金網付きの場合計上しない	世話役		人	0.5 (0.5)		法面工		人	2.3 (3.3)		普通作業員		人	1.6 (2.3)		名称	規格	単位	数量	摘要	種子定着促進ネット		m2	120		主アンカーピン		本	10		補助アンカーピン		本	40		発動発電機運転	10kVA	日	0.6		世話役		人	0.5		法面工		人	1.5		普通作業員		人	1.8		諸雑費		%	3.0		(追加)
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																						
種子定着促進マット	1m×10m (1.15m×1.15m)	m	110 (83.3)	必要に応じて亀甲金網付きを選択 ロス率1.1を含む																																																																																						
アンカーピン	Φ9×200mm	本	309 (379)																																																																																							
アンカーピン	Φ9×200mm		110	亀甲金網付きの場合計上する																																																																																						
止め釘	L=150mm 大頭釘	本	290 (606)	亀甲金網付きの場合計上しない																																																																																						
世話役		人	0.5 (0.5)																																																																																							
法面工		人	2.3 (3.3)																																																																																							
普通作業員		人	1.6 (2.3)																																																																																							
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																						
種子定着促進ネット		m2	120																																																																																							
主アンカーピン		本	10																																																																																							
補助アンカーピン		本	40																																																																																							
発動発電機運転	10kVA	日	0.6																																																																																							
世話役		人	0.5																																																																																							
法面工		人	1.5																																																																																							
普通作業員		人	1.8																																																																																							
諸雑費		%	3.0																																																																																							

神奈川県森林土木事業設計要領（林道編）
第3編 新旧対照表

新	旧																																																								
5丸太伏工（必携共通 7－2－4） (1)材料及び歩掛 ・皮付き丸太を使用する場合の材料は以下のとおりとする。施工延長10mあたりの労務数量は、必携共通7－2－4丸太伏工のとおりとする。 (10m当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="2">丸太</td><td>φ 80-140 L=1,500 (皮付)</td><td rowspan="2">本</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>φ 80-140 L=2,000 (皮付)</td></tr><tr><td>かすがい</td><td>φ 9 L=150</td><td>本</td><td>140</td><td></td></tr><tr><td>アンカーピン</td><td>D16 L=800</td><td>本</td><td>(10)</td><td>概ね1mごとに設置</td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>(0.33)</td><td>アンカーピン設置</td></tr></table> ・アンカーピンを設置する場合は、<u>()内の数値を計上する。</u> (削除) 6 獣害対策資材設置工 (1) 適用範囲 ・本歩掛は、シカ等による植生工施工地の食害や踏み荒らしを軽減するために植生工の上に<u>防護資材</u>を設置する工法に適用する。 4丸太伏工（必携共通 7－2－4） (1)材料及び歩掛 ・皮付き丸太を使用する場合の材料は以下のとおりとする。施工延長10mあたりの労務数量は、必携共通7－2－4丸太伏工のとおりとする。 (10m当り) <table><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td rowspan="2">丸太</td><td>φ 80-140 L=1,500 (皮付)</td><td rowspan="2">本</td><td rowspan="2">70</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>φ 80-140 L=2,000 (皮付)</td></tr><tr><td>かすがい</td><td>φ 9 L=150</td><td>本</td><td>140</td><td></td></tr></table> ・アンカーピンを設置する場合は、<u>以下の材料・歩掛を計上することとする。</u> (10m当り) <table><tr><th><u>名 称</u></th><th><u>規 格</u></th><th><u>単位</u></th><th><u>数量</u></th><th><u>摘 要</u></th></tr><tr><td><u>アンカーピン</u></td><td><u>D16 L=800</u></td><td><u>本</u></td><td><u>10</u></td><td><u>概ね1mごとに設置</u></td></tr><tr><td><u>普通作業員</u></td><td></td><td><u>人</u></td><td><u>0.33</u></td><td><u>アンカーピン設置</u></td></tr></table> (必携共通7－2－3 木製軽量法枠工関連事項) 5 獣害対策金網敷設工 (1)適用範囲 ・本歩掛は、シカ等による植生工施工地の食害や踏み荒らしを軽減するために植生工の上に<u>強固な金網を20cm程度の高さで浮かして</u>設置する工法に適用する。	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	丸太	φ 80-140 L=1,500 (皮付)	本	70		φ 80-140 L=2,000 (皮付)	かすがい	φ 9 L=150	本	140		アンカーピン	D16 L=800	本	(10)	概ね1mごとに設置	普通作業員		人	(0.33)	アンカーピン設置	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	丸太	φ 80-140 L=1,500 (皮付)	本	70		φ 80-140 L=2,000 (皮付)	かすがい	φ 9 L=150	本	140		<u>名 称</u>	<u>規 格</u>	<u>単位</u>	<u>数量</u>	<u>摘 要</u>	<u>アンカーピン</u>	<u>D16 L=800</u>	<u>本</u>	<u>10</u>	<u>概ね1mごとに設置</u>	<u>普通作業員</u>		<u>人</u>	<u>0.33</u>	<u>アンカーピン設置</u>
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																					
丸太	φ 80-140 L=1,500 (皮付)	本	70																																																						
	φ 80-140 L=2,000 (皮付)																																																								
かすがい	φ 9 L=150	本	140																																																						
アンカーピン	D16 L=800	本	(10)	概ね1mごとに設置																																																					
普通作業員		人	(0.33)	アンカーピン設置																																																					
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																					
丸太	φ 80-140 L=1,500 (皮付)	本	70																																																						
	φ 80-140 L=2,000 (皮付)																																																								
かすがい	φ 9 L=150	本	140																																																						
<u>名 称</u>	<u>規 格</u>	<u>単位</u>	<u>数量</u>	<u>摘 要</u>																																																					
<u>アンカーピン</u>	<u>D16 L=800</u>	<u>本</u>	<u>10</u>	<u>概ね1mごとに設置</u>																																																					
<u>普通作業員</u>		<u>人</u>	<u>0.33</u>	<u>アンカーピン設置</u>																																																					

神奈川県森林土木事業設計要領（林道編）
第3編 新旧対照表

新					旧				
(2) 単価表 <u>格子型獣害対策金網設置工</u> <u>100m2 あたり</u>					(2) 単価表 (100m2 あたり) <u>(追加)</u>				
名称	規格	単位	数量	摘要	名称	規格	単位	数量	適用
世話役		人	1.0 <u>(1.1)</u> <u><1.1></u>		世話役		人	1.0 <u>(追加)</u>	
法面工		人	2.0 <u>(1.1)</u> <u><1.1></u>		法面工		人	2.0 <u>(追加)</u>	
山林砂防工 (普通作業員)		人	1.0 <u>(2.3)</u> <u><1.1></u>		山林砂防工 (普通作業員)		人	1.0 <u>(追加)</u>	
格子型結束金網	網目 76×127mm、線径縦横線 2.5mm 止線 2.3mm	m2	110 <u>(110)</u> <u><110></u>		格子型結束金網	網目 76×127mm、線径縦横線 2.5mm 止線 2.3mm	m2	110 <u>(追加)</u>	
ネット台座	h=230mm、線径 4mm	個	100 <u>(56.3)</u> <u><42.3></u>		ネット台座	h=230mm、線径 4mm	個	100 <u>(追加)</u>	
金網結合コイル	長さ 10cm、線径 1.8mm	個	64 <u>(64)</u> <u><64></u>		金網結合コイル	長さ 10cm、線径 1.8mm	個	64 <u>(追加)</u>	
アンカーピン	φ 16 L=400	本	117 <u>(73.3)</u> <u><59.3></u>		アンカーピン	φ 16 L=400	本	117 <u>(追加)</u>	
アンカーピン	φ 9 L=200	本	63 <u>(63)</u> <u><63></u>		アンカーピン	φ 9 L=200	本	63 <u>(追加)</u>	
<u>発動発電機</u>	<u>10kVA</u>	日	0 <u>(1.1)</u> <u><1.1></u>		<u>(追加)</u>	<u>(追加)</u>	<u>(追加)</u>	<u>(追加)</u>	
諸雑費		%	5 <u>(5)</u> <u><5></u>		諸雑費		%	5 <u>(追加)</u>	
備考 1 本表は仮設ロープにより施工する場合の歩掛である。 2 諸雑費は、打込みハンマ及び仮設ロープの損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上					備考 1 本表は仮設ロープにより施工する場合の歩掛である。 2 諸雑費は、打込みハンマ及び仮設ロープの損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上				

神奈川県森林土木事業設計要領（林道編）
第3編 新旧対照表

新	旧																																																																											
する。 3 軟弱な土質や、最大積雪深さが 0.5m を超える場所では、必要に応じて適宜長いアンカーピンを用いるものとする。 4 簡易法枠 A の場合は（ ）内の数値を、簡易法枠 M の場合は<>内の数値を使用する。 獣害対策樹脂ネット設置工100m2 あたり <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr><tr><td>世話役</td><td></td><td>人</td><td>0.5 (0.4)</td><td></td></tr><tr><td>法面工</td><td></td><td>人</td><td>1.3 (1.2)</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>0.7 (0.7)</td><td></td></tr><tr><td>樹脂ネット</td><td>0.95m×5.5m (0.95m×1.0m)</td><td>m</td><td>111 (75.8)</td><td></td></tr><tr><td>アンカーピン</td><td>D10×250mm</td><td>個</td><td>402 (455)</td><td></td></tr><tr><td>諸雑費</td><td></td><td>%</td><td>3 (15)</td><td></td></tr></table> 備考 1 法枠内に設置する場合は枠内吹付面積 100m2 あたりの数量とし、（ ）内の数値を使用する 2 諸雑費はハンマー・ロープの損料等であり労務費の合計額に率を乗じた金額を計上する。 獣害対策金網張工100m2 あたり <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘要</th></tr><tr><td>世話役</td><td></td><td>人</td><td>0.5</td><td></td></tr><tr><td>法面工</td><td></td><td>人</td><td>1.5</td><td></td></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td>0.5</td><td></td></tr><tr><td>獣害対策金網</td><td>0.95m×5.5m</td><td>m2</td><td>130</td><td></td></tr><tr><td>アンカーピン</td><td>Φ16×400mm</td><td>本</td><td>32</td><td></td></tr><tr><td>アンカーピン</td><td>Φ9×200mm</td><td>本</td><td>199</td><td></td></tr><tr><td>諸雑費</td><td></td><td>%</td><td>5</td><td></td></tr></table> 備考 1 法枠内に設置する場合は枠内吹付面積 100m2 あたりの数量とし、（ ）内の数値を使用する 2 諸雑費はハンマー・ロープの損料等であり労務費の合計額に率を乗じた金額を計上する。 3 植生マットやシートの獣害対策に使用し、植生基材吹付工に係る獣害対策には使用しない。 第7節～第10節（略）	名称	規格	単位	数量	摘要	世話役		人	0.5 (0.4)		法面工		人	1.3 (1.2)		普通作業員		人	0.7 (0.7)		樹脂ネット	0.95m×5.5m (0.95m×1.0m)	m	111 (75.8)		アンカーピン	D10×250mm	個	402 (455)		諸雑費		%	3 (15)		名称	規格	単位	数量	摘要	世話役		人	0.5		法面工		人	1.5		普通作業員		人	0.5		獣害対策金網	0.95m×5.5m	m2	130		アンカーピン	Φ16×400mm	本	32		アンカーピン	Φ9×200mm	本	199		諸雑費		%	5		する。 3 軟弱な土質や、最大積雪深さが 0.5m を超える場所では、必要に応じて適宜長いアンカーピンを用いるものとする。 (追加) (追加) 第7節～第10節（略）
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																								
世話役		人	0.5 (0.4)																																																																									
法面工		人	1.3 (1.2)																																																																									
普通作業員		人	0.7 (0.7)																																																																									
樹脂ネット	0.95m×5.5m (0.95m×1.0m)	m	111 (75.8)																																																																									
アンカーピン	D10×250mm	個	402 (455)																																																																									
諸雑費		%	3 (15)																																																																									
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																								
世話役		人	0.5																																																																									
法面工		人	1.5																																																																									
普通作業員		人	0.5																																																																									
獣害対策金網	0.95m×5.5m	m2	130																																																																									
アンカーピン	Φ16×400mm	本	32																																																																									
アンカーピン	Φ9×200mm	本	199																																																																									
諸雑費		%	5																																																																									